令和３年２月

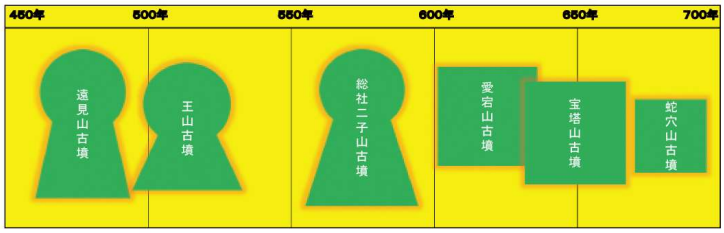
# 愛宕山古墳現地説明会資料

前橋市教育委員会事務局文化財保護課

前橋市総社町を中心とした、利根川西岸に南北約４ｋｍにわたって、大きな古墳が６基残っています。５世紀後半から７世紀後半にかけてこの地を治めた豪族の墓とみられ、「総社古墳群（そうじゃこふんぐん）」と呼ばれています。王様が眠る豪華な石室や、ぜいたくな出土品などから、東日本でも有数の古墳群に数えられ、６基の大型古墳のうち、３基が国の史跡に、２基が市の史跡に指定されています。

前橋市では、それぞれの古墳が本来どのような形をしていて、どこまで広がっていたのかを確認する事業を進めており、前橋市立第六中学校のすぐ東にある愛宕山古墳（あたごやまこふん）の調査を行っています。

総社古墳群の広がり




総社古墳群の移り変わり

## 【愛宕山古墳】

愛宕山古墳は、墳丘の測量調査の成果より、一辺約56mを測る大型の古墳で、７世紀前半に造られたと考えられます。本古墳の前に造られた総社二子山古墳は、上から見た形がカギ穴形をした前方後円墳ですが、愛宕山古墳からは「方墳」という四角い形の古墳に変化します。以降に続く宝塔山古墳・蛇穴山古墳とも、三代にわたって「方墳」を採用します。また、墳丘の規模は３基とも群を抜いて大きく、「上毛野（かみつけの」と呼ばれた当時の群馬県で最大規模を誇ります。

# 墳丘・周堀の調査の様子

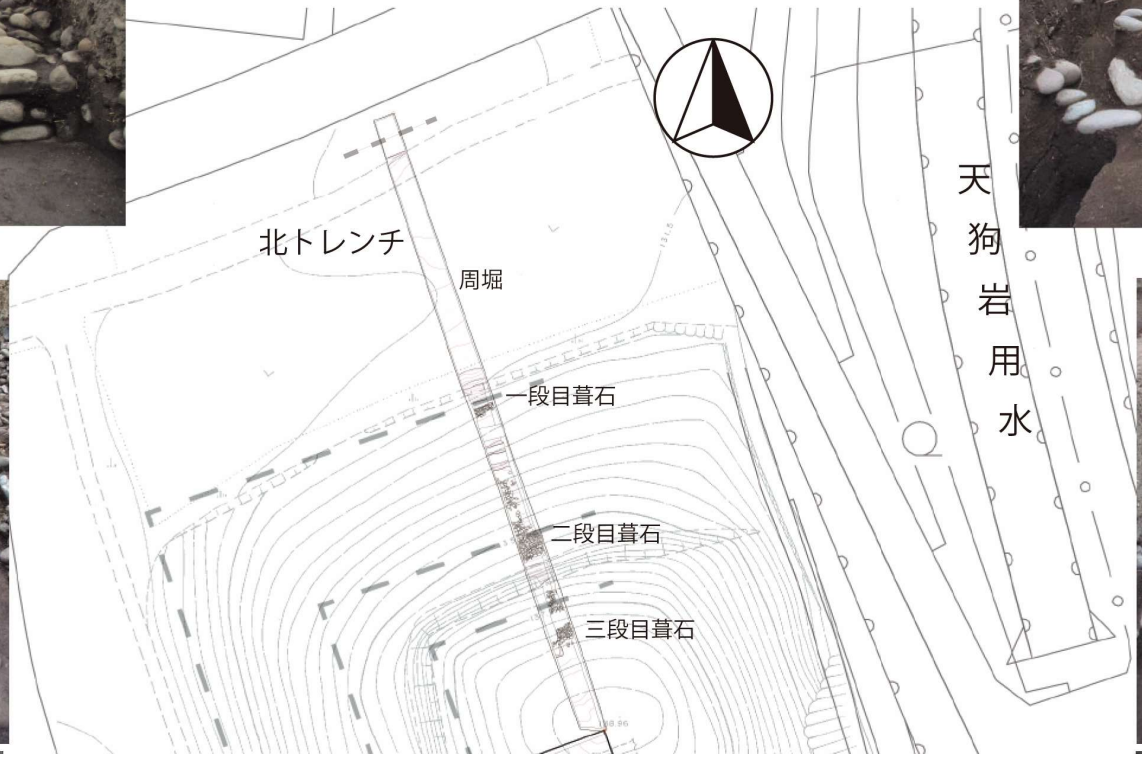
## 西トレンチ

周堀内の土の堆積状況

一段目葺石の様子

愛宕山古墳は、平成７年度に古墳をめぐる周堀部分を調査していますが、今回の調査では周堀の確認に加えて、はじめて墳丘の発掘を行いました。これまで二段築成の古墳と考えられてきましたが、新たに葺石が検出され、少なくとも三段築成（さらに段数を増す可能性もある）の古墳であることが分かりました。

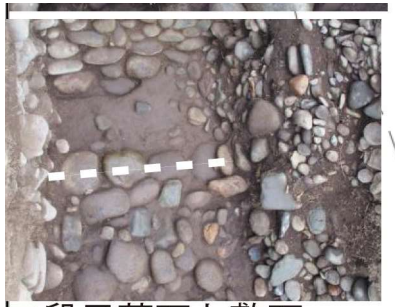
葺石は大きめな川原石を丁寧に葺き、さらにその外側にも葺石を施した特異な構造が確認されました。また、墳丘のテラス面にも石が敷かれていたことも分かり、豪華に飾り立られた墳丘が姿を現しました。




## 北トレンチ

周堀内の土の堆積状況

一段目葺石の様子



二段目葺石と敷石

三段目葺石と敷石

外側の葺石

外側の葺石

二段目葺石と敷石

三段目葺石と敷石

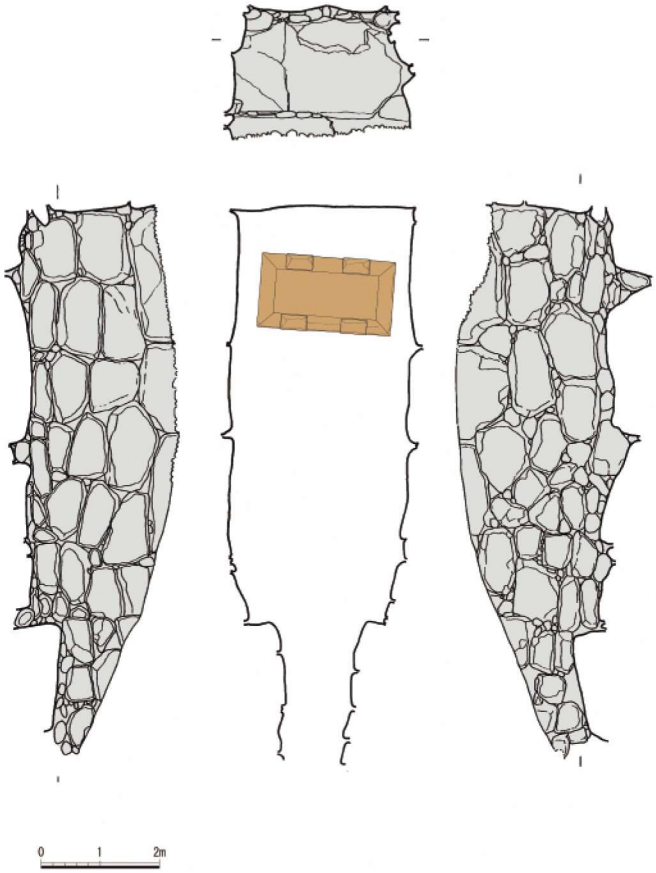
墳頂部の様子

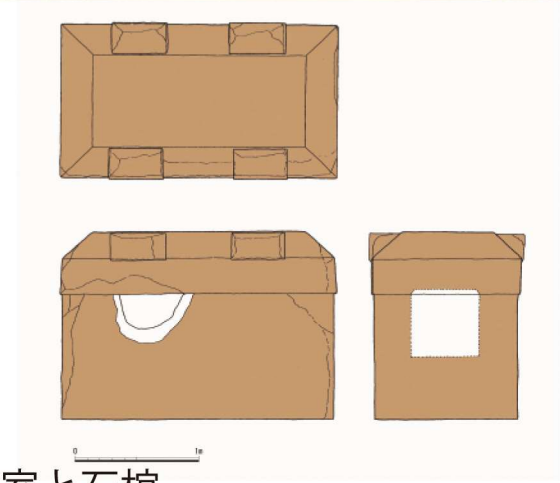
今年度の調査では、周堀の外側立ち上がりを再確認し、古墳の広がりを明確にすることができました。また、墳丘の大きさやつくりを把握するための重要な手掛かりが得られました。本古墳の構造がより詳細に確認できたことから、本古墳の持つ価値がさらに高まったと言えるでしょう。

墳頂部の様子

## 【愛宕山古墳の石室】

　石室は墳丘の南側に開口しています。墳丘の一段目葺石をのぼり上げた平らな面に、巨大な石を積み上げて造られており、ちょうど石室の奥壁が墳丘の中心に位置しています。未調査のため正確な規模は不明ですが、王様の眠る玄室の長さだけで約７ｍもある非常に大きな横穴式石室で、天井や壁に用いられた石材も部分的な加工が施されています。また玄室の奥には、家の形を模した凝灰岩製の家形石棺が置かれるなど、墳丘ばかりではなく、石室も贅をこらした豪華なつくりとなっています。





愛宕山古墳の石室と石棺

## 【前橋フィールドミュージアム】

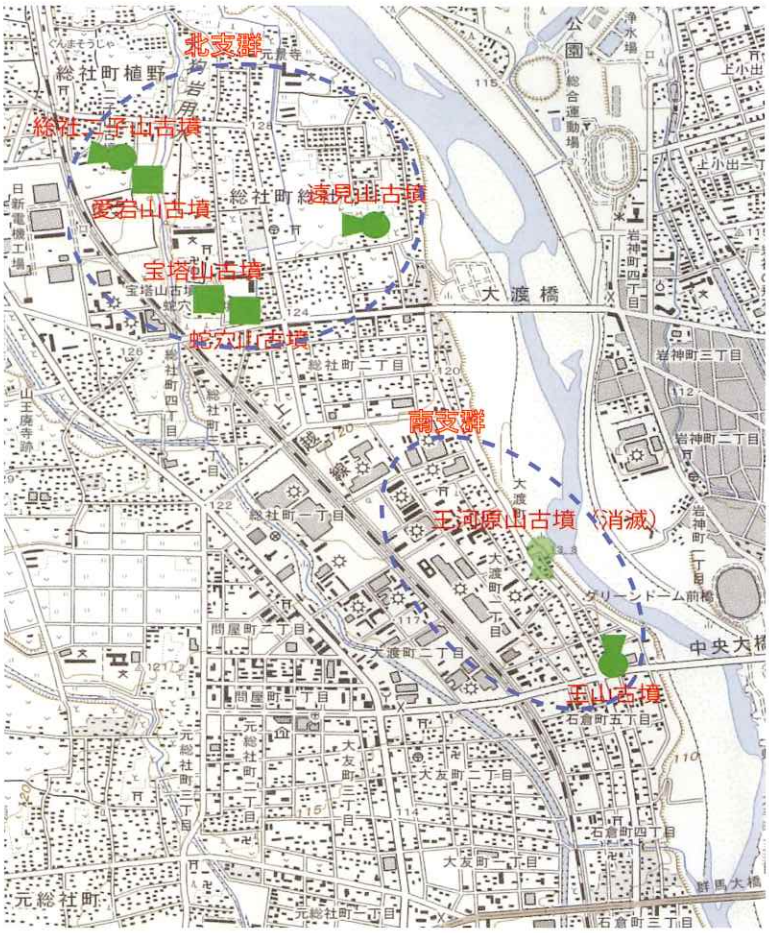
　総社地区をはじめ、前橋市には数多くの歴史資産が残されています。これら「前橋の宝物」を身近に感じていただくため、本市では文化財ポータルサイト「前橋フィールドミュージアム」を開設しています。本サイトをチェックして、文化財めぐりにお出かけください。

# 榛名山東南麓に広がる古墳群

総社古墳群は、東南方向に広がる榛名山の裾野（すその）の末端、現利根川の西岸に南北約 4km に分布する古墳群です。総社古墳群は、その規模や卓越（たくえつ）した築造（ちくぞう）技術、優美な出土品などから、古くから注目されており、東国を代表する古墳群の一つに数えられます。大型の古墳としては、現在前方後円墳（ぜんぽうこうえんふん）３基、方墳（ほうふん）３基が残されています。

古墳群の分布の様子を見ると、その立地から南北二群に分けられ、南支群には王山古墳（おうやまこふん）・王河原山古墳（おうかわらやまこふん）（消滅）、北支群には遠見山古墳（とおみやまこふん）・総社二子山古墳（そうじゃふたごやまこふん）・愛宕山古墳（あたごやまこふん）・宝塔山古墳（ほうとうざんこふん）・蛇穴山古墳（じゃけつざんこふん）があります。

総社古墳群は、まず５世紀後半に北支群に遠見山古墳が築かれ、その後６世紀初頭に横穴式石室を持った南支群の王山古墳や王河原山古墳が続くと見られます。以降は北支群で大型古墳が造られ、総社二子山古墳（６世紀後半）⇒愛宕山古墳（７世紀前半）⇒宝塔山古墳（７世紀中葉）⇒蛇穴山古墳（７世紀後半）へと移り変わります。




総社古墳群の分布

総社古墳群の移り変わりと主なできごと

# 東国の雄　総社古墳群と山王廃寺

遠見山古墳

王山古墳

総社二子山古墳

愛宕山古墳

宝塔山古墳

山王廃寺塑像

山王廃寺塔心礎

蛇穴山古墳

## 愛宕山古墳現地説明会資料


開催日　令和３年２月13・14日
印刷・発行　令和３年２月13日

編集・発行　前橋市教育委員会事務局文化財保護課



〒371-0853　前橋市総社町三丁目１１－４
電話０２７－２８０－６５１１